

2019年4月13日 母を亡くした悲しみの先に～声なきこどもの声～

1. 死別父子家庭で育った発信は少なく、子どもの気持ちがよくわかりました。(50代)
2. 死にむきあうこと環境が変わることは思った以上に大変なこと。(60代)
3. 柳川さんのお話の後に語りのつながりを感じるワールドカフェがあったことは、とても意義深いと思いました。柳川さんの語りが、大きく温かなものに広がっていく感覚…、心に残る時間となりました。ありがとうございました。(荒木昌子さん 40代)
4. “声なきこどもの声”をどうひろえるか、自身もNPO活動を通して考えていかなければならない事だと思いました。言葉、感情、全てで表現できる場でありたいです。今は教育現場に関わっていける事ができたらと思っています。(T.U.さん)
5. 包みこむような優しいまなざし・声で語って下さりグリーフケアの意味を少し理解できたように思います。グリーフケアに出会い、この場に立たれたこと、柳川さんとの出会いに感謝するとともに友人になれたことを誇りに思います。立場(男女でも)が違つてくる意見も違いワールドカフェ参考になりました。(M.H.さん 40代)
6. 親が死んだ年が余命と感じると話された言葉が印象的でした。私の母親も母親と2才の時に死別し親が32才で亡くなっているのに、32才にはすぐこだわっていました。その母のこだわりから、自分自身も母の淋しさや痛みを感じる事がありました。ことばの重みを感じ、柳川さんの語りを聞いて母親の思いも合わせて聞かせて頂くことができました。心の中を開示し、生の声を聞かせて頂いて、気持ちが伝わってきました。とても良かったです。ありがとうございました。(M.Y.さん 50代)
7. 同じ空のもと皆つながっている。－柳川さんがよく使う言葉(この言葉最近好きかも)。自身の事、話をする事で現在進行形でケアしながら他者をケアしているだなとすぐ感じた。(T.I.さん 30代)
8. 悲しみをかかえる人へどう言葉がけをしたら良いか、いつも分からなくなります。今回お話を聞き言葉だけではなく心で想い、その想いは時間はかかってもきっと伝わるのではないかと感じました。終わりがあるから始まりがある、失ったものは多いけれど得たものもたくさんある。人と人とのつながりはとても大切なことだと感じました。柳川さんの心の広さを感じました、ありがとうございました。ワールドカフェをしてみて、様々な考えがあり新たな発見ができました。男性と女性の考え方も少し違い、異性の考え方も大切だと思いました。(40代)
9. 私も父を子どもの時に亡くした経験があり、その時のことと重ねるように生きていました。ただ私は家族いつも父のことを話せていたので、「話さないことは記憶に残らない」と言われていたのがとても印象に残り、お辛かつただろうなあと改めて思いました。(40代)
10. ①グリーフとは言葉(LOVE)ではなく感じる事…(ブーさんの言葉の場面) ②柳川さん自身の人生が8才から始まった、という言葉聞いた時や22年間家族の話しをできなかったというのが辛いな～と感じた。 ③柳川さんがこのような体験をされながらも林山でグリーフケアの勉強をされていたのかと思うと頭が下がります。(Y.S.さん 40代)
11. 長い間、辛い苦しみを持って過ごされていたとは、出会ったときは全くきづきませんでした。私があたりまえのように過ごしていた時期に、日々親のいない事実をつきつけられ、感覚を鈍くさせるしかなかったと聞き、本当に長い間苦しんでこられたと思いました。グリーフケアに出会えた事。ようやく導

かれ、受けいられることができたことは、又これからの生き方に関わってくると思うのでムリせずして下さい。(M.H.さん 50代)

12. 本人・個人の中だけでは閉塞的である想いも、温かみとぬくもりと一緒に感じ合える人だからこそ、語り合うことで与えられる宝物がある、と本当にその通りだと思います。人が人である意味を感じとれたように思います。ありがとうございます。(S.M.さん 50代)